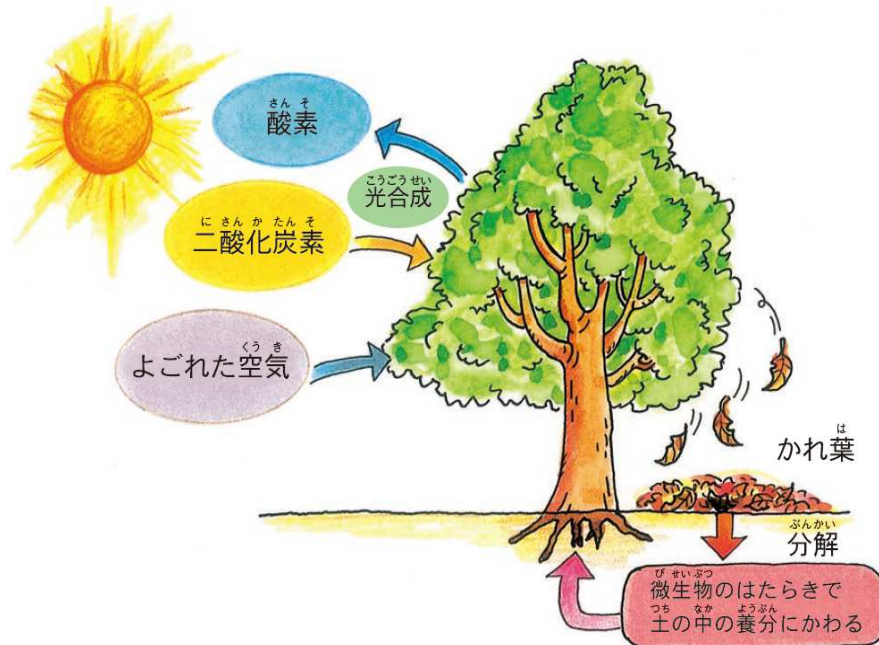


7 わたしたちと自然

■ 植物の働き

わたしたちにとって身近にある木や草花などの植物は、空気と同じように生き物になってはならないものです。そこで、植物が果たす大切な役割を考えてみましょう。

- 光合成によってわたしたちに必要な酸素を作っています。
- 葉からよごれた空気を吸収してくれます。
- 雨などの水をたくわえて、洪水や土砂くずれなどを防ぎます。
- 街路樹は、暑さをやわらげてくれます。
- 生き物のすみ家になっています。
- 人に安らぎを与えてくれます。
- 建物などの材料や紙の原料になります。



人間を守る森林

森や林の木は、さまざまな形で人間を守っています。防風林は強い風から、防潮林は海の潮風からそれぞれ家を守っています。保安林は、大雨のときの洪水や土砂くずれを防いでいます。また、水源かん養林は、根につねに水をふくんで、水不足になるのを防いでいます。



■ 緑を増やす努力

現在、大切な緑は世界中で年々へっています。その原因は道路や宅地などの開発や木材、紙の原料としての木がたくさん切られているからです。さらに、森林をからす酸性雨も問題となっています。大切な緑を守り、育て、増やすために世界中でたくさんの人が努力をしています。

福山市でも緑の大切さを市民のみなさんに知ってもらうために、街路樹を植えたり、公園を作ったりしています。また、周辺の山林の保全にも力を入れています。



ばら公園



公園の緑



ノートやえんぴつも大切に使わないとね。

■ ともに生きる大切な仲間

緑を守り育てると同時に、この地球上に生きる仲間として生き物たちも守っていかなくてはなりません。生き物がすみやすい環境とは、わたしたち人間にとってもすみやすい環境です。

次の写真は、福山市で見られる貴重な生き物たちです。



スイゲンゼニタナゴ



オニバス



ナゴヤサナエ



ハクセンシオマネキ

広島県では、1994年（平成6年）に野生動植物を守るための「広島県野生生物の種の保護に関する条例」が制定されました。これは、県内にすむ貴重な野生動植物を共に生きる仲間として守っていかうとするものです。この条例により、スイゲンゼニタナゴをはじめ11種の野生動植物が指定されており、これらをとることは禁止されています。